

特集

看護学の発展についての理論
研究者としての基盤

〈座談会〉看護学の発展についての理論—研究者としての基盤

南裕子, 片田範子, (聞き手)坂下玲子

看護理論の展開— Middle-range theory, Situation-specific theory

坂下玲子

Transitions Theory とは 増野園恵

Dr. Afaf Meleis 講演より— Transitions Theory を中心に 岡田彩子

Transitions Theory の活用— Example of Study with Transitions Theory

Enn-Ok Im

【連載】

英語論文を書くということ・4 余善愛

編集後記

●本年最初の特集は、昨年連載いただいた抱井尚子氏のご協力を仰ぎ、混合研究法を取り上げました。第1回学術大会は非常に盛況で、新たな研究法への大いなる期待を肌で感じる取材でした。参加者の中でも看護領域の方々が多くの割合を占めていたことは、看護研究における混合研究法のさらなる進展を予感させます。今後も、さまざまな課題や疑問にこたえながら混合研究法は進展していくのだと思います。追いつきたいと思います。●表紙が再び新しくなりました。同時に小誌は本年から、編集体制の刷新にも取り組みたいと考えています。創刊以来わが国の看護研究の発展に伴走して約50年。私はほんの一部を垣間見ただけですが、この間、編集顧問・編集協力者の方々から小誌が与った恩恵は計り知れず、只々感謝の言葉しか見つかりません。“巨人”の肩の上に乗らせていただき、新編集協力者体制のもと一層充実した誌面づくりに動んでいきたいと思っています。本年もよろしく願いいたします。(小長谷)

看護研究 第49巻 第1号(通巻264号) 2016年2月15日発行(増刊号を含め年7回発行)

発行:株式会社医学書院 代表者 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2016, Printed in Japan

販売部(03)3817-5659 社内案内(03)3817-5600 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>『看護研究』編集室:(03)3817-5775 電子メールアドレス kanken@igaku-shoin.co.jp 担当/小長谷・早田
1部定価1,900円+税2016年年間購読料(税込,送料弊社負担,増刊号を含む年7冊):冊子版13,025円 冊子+電子版/個人
16,265円 冊子+電子版/共有18,274円 電子版/個人13,025円 電子版/共有15,034円

〈学割年間購読料〉冊子版10,498円 冊子+電子版/個人13,738円 電子版/個人10,498円

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写,スキャン,デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学,病院,診療所,企業などにおいて,業務上使用する目的(診療,研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは,その使用範囲が内部的であっても,私的使用には該当せず,違法です。また私的使用に該当する場合であっても,代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

JCOPY 出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は,そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

●編集協力者(五十音順)

阿曾洋子/井上智子
井部俊子/太田喜久子
岡谷恵子/片田範子
金井Pak 雅子/上泉和子
萱間真美/川口孝泰
河口てる子/グレッグ美鈴
黒田裕子/小松浩子
坂下玲子/真田弘美
筒井真優美/水流聡子
西村ユミ/野嶋佑由美
早川和生/舟島なをみ
正木治恵/村嶋幸代
森 恵美/安酸史子
山田雅子/山本則子

看護研究バックナンバー

vol.
48
no.
7
Nov
Dec

●特集 | 査読を考える—査読ガイドラインの構築に向けて

論文の査読ガイドライン構築に向けて—誰のためのガイドラインか 萱間真美
 【座談会】査読ガイドラインの構築に向けて何が必要か 小泉俊三, 法橋尚宏, 山本則子, 萱間真美
 【海外の動向から考える】 【翻訳】優れた研究のための触媒となる EQUATOR ネットワーク Iveta Simera
 【翻訳】Journal of Nursing Education 査読者のためのガイドライン
 【英文誌／和文誌の査読から考える】 Cancer Nursing 査読者としての経験から—投稿ガイドラインを中心に 丸光恵
 英文誌と和文誌の査読の経験から 半澤節子
 投稿者・査読者・編集者の視点から査読ガイドラインの意義を考える 江藤宏美
 【学会の動向から考える】 Japan Journal of Nursing Science 編集委員長としての経験に基づく査読に関する私見 グレグ美鈴
 日本看護学会教育学会の査読の動向 秋元典子
 『家族社会学研究』の査読システムと査読ガイドライン 池岡義孝
 【査読を受けた経験をいま査読者としてどうかするか】 著者と査読者の相互作用 西垣昌和
 論文査読に必要とされるものは何か 跡上富美
 投稿経験から考える査読のプロセスと査読者の役割 河野あゆみ
 【特別記事】
 【翻訳】よりよいヘルスケアの実現に向けて道筋をリードする—IMHLを通じて世界へ Leslie Breitner (翻訳) 緒方泰子, 湯本淑江
 特別養護老人ホームにおけるミューチュアル・アクションリサーチ—自己革新のプロセスをたどる実践研究手法の適用
 小山千加代
 【連載】
 英語論文を書くということ② 英語論文を書く過程 余 善愛
 混合研究法入門⑥ [最終回] 混合研究法デザインとその研究例(2)応用型編 抱井尚子
 UCSFで看護研究を学ぶ⑥ [最終回] 研究を伝えるためのさまざまな取り組み 齋藤真希

vol.
48
no.
6
Sep
Oct

●特集 | 現象学を語る

【対談】現象学とグラウンデッド・セオリー 西村ユミ, 山本則子
 【ディスカッション】大学院生からみた現象学とグラウンデッド・セオリー—対談に参加して
 西村ユミ, 山本則子, 坂井志織, 榎川綾子, 細野知子, 村上優子, 石井絢子, 城島華子, 藤井文香, 齋藤凡, 西川代
 【対談・ディスカッションを終えて】 対談からうまれた3つの「問い」 西村ユミ
 研究方法の垣根を越え, 「看護学の知」の山をめざす 山本則子
 【臨床実践の現象学会第1回大会大ラウンドテーブルディスカッション「一緒に『現象学する』より」】
 1. 現象のリアリティを記述する 現象を理解するための新たな視点や概念を抽出し, それを提案する 萱間真美
 現象学的な質的研究の方法論 村上靖彦
 2. 事象と現象学との関係性 現象学的な質的研究の多様性 村上靖彦
 エピソード研究で「現象学」を使う意味 大塚 類
 3. 質的研究の正当性 エピソード研究の妥当性とは何か 大塚 類
 現象学的看護研究の立場から 細野知子
 研究の正当性とは何か 萱間真美
 【特別記事】
 看護研究のための文献レビュー—マトリックス方式の意義と実際 安部陽子
 看護における end-of-life care 教育システムの再構築への提言—スウェーデンにおける予想される死への看護職による死亡確認の現状から 川原礼子, 佐々木明子, 齋藤美華, 坂川奈央
 【連載】
 英語論文を書くということ① [新連載] なぜ英語で論文を書くのか—序に代えて 余 善愛
 混合研究法入門⑤ 混合研究法デザインとその研究例(1)基本型編 抱井尚子
 Journal Watch 海外の看護学研究から学ぶ⑤ 理論的根拠のある情報・知識を効果的に広めていくための教育プログラムとは 奥村朱美
 量的研究におけるアウトカムと説明変数の設定の難しさ 森陽子
 UCSFで看護研究を学ぶ⑤ コースワークとしての研究実施 齋藤真希

vol.
48
no.
5
Jul
Aug

●特集 | NP 教育の成果を探る—自律した Health Care Provider をめざして

大学院修士課程における診療看護師(NP)養成教育と法制化 藤内美保, 山西文子
 【NPのアウトカムとエビデンス】
 ①一般病院のケース
 プライマリケア領域における周手術期アウトカム, 患者満足度, 看護師からの評価—診療看護師(NP)を導入して5年目の事例 塩月成則, 藤内美保, 藤本響子, 甲斐かつ子, 宮内信治, 小野剛志, 小寺隆元
 診療看護師(JNP)の活動がもたらす影響—長崎医療センターでの臨床研修をとおしての成果 本田和也, 和泉泰衛
 周術期領域における診療看護師(NP)の活動と成果 吉田弘毅, 伊藤豊
 チーム医療「急性期早期離床チーム」における診療看護師(NP)の役割 平田尚子, 菊野隆明
 消化器外科病棟における診療看護師(NP)の役割と成果 飯野雅子, 鈴木英之
 ②在宅医療・訪問看護のケース
 診療所における診療看護師(NP)の活動と成果 長谷川健美, 山田顕士, 福田広美
 訪問看護ステーションにおける診療看護師(NP)導入前後の実態調査—訪問看護関連報酬に焦点を当てて 光根美保, 守永里美, 藤内美保, 宮内信治, 阿南みと子, 財前博文
 ③介護老人保健施設, 重症心身障害児(者)施設等のケース
 介護老人保健施設における診療看護師(NP)の活動成果 廣瀬福美, 小野美喜, 小寺隆
 重症心身障害児(者)施設における診療看護師(NP)の成果 後藤愛, 高野政子, 佐藤圭右
 ④看護の視点からみたケース
 高齢者医療施設における診療看護師(NP)の活動成果 平野優, 町屋晴美
 【座談会】
 診療看護師(NP)の新たな発展をめざして—活動の成果とこれからのビジョン 草間朋子, 村嶋幸代, 真田弘美, 深井照美
 The Contributions of Research in the Development of Nurse Practitioners in the United States Jamesetta A. Newland
 【特別記事】
 看護における知的財産活動の活性化のために看護系大学における知的財産活動 丞村宏
 【連載】
 混合研究法入門④ 混合研究法の手続き(その2) 抱井尚子
 Journal Watch 海外の看護学研究から学ぶ④ 看護学生への災害時の看護管理教育を考える 小玉淑巨
 米国の看護研究チームの活動を知る—項目反応理論モデルを用いた二次分析 那須佳津美
 UCSFで看護研究を学ぶ④ 倫理審査委員会への研究計画申請と学生生活 齋藤真希

